

肺腺癌の治療のため診療を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 臨床検査科では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	MET exon 14 skipping 陽性肺腺癌の細胞形態学的検討
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター 臨床検査科 研究責任者 本多 雅樹
【対象となる方】	西暦 2024 年 6 月 12 日から 2026 年 6 月 30 日までに 呼吸器内科または呼吸器外科にて肺腺癌の診療のため 肺癌遺伝子検査を受けた方 30 名
【研究の意義、目的、方法】	<p>（研究の意義）</p> <p>肺腺癌では、がん細胞の遺伝子の変化によって治療法が選ばれることがあります。その一つである「MET exon 14 skipping」という遺伝子変化をもつ肺腺癌では、特徴的な細胞の形がみられる可能性があります。細胞診での特徴は十分に分かっていません。</p> <p>（目的）</p> <p>MET exon 14 skipping という遺伝子変化がある肺腺癌と、ない肺腺癌の細胞診標本を比較し、細胞の形や集まり方に違いがあるかを調べます。</p> <p>（方法）</p> <p>診療のためにすでに作製・保管されている細胞診標本と遺伝子検査結果を使用します。細胞の形、集まり方、特徴的な構造の有無などを観察し、比較します。</p> <p>この研究のために新たな検体採取や追加検査を行うことはありません。</p>

【利用する試料・情報の種類】	診療のために採取・保管されている細胞診標本と、診療録・検査記録に記載された年齢、性別、肺腺癌の診断情報、細胞診検査結果、肺癌遺伝子検査結果(MET exon 14 skippingの有無を含む)を利用します。
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：臨床検査科 本多 雅樹 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）